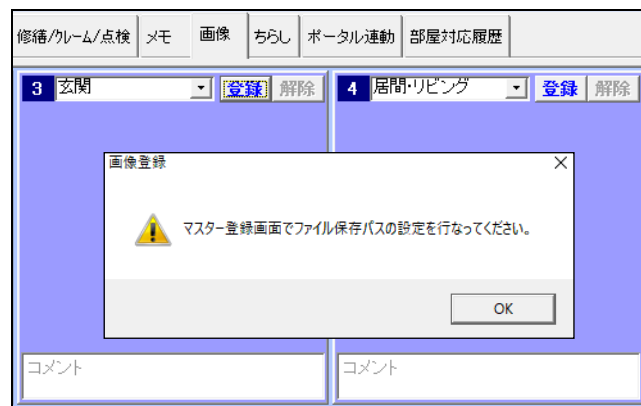
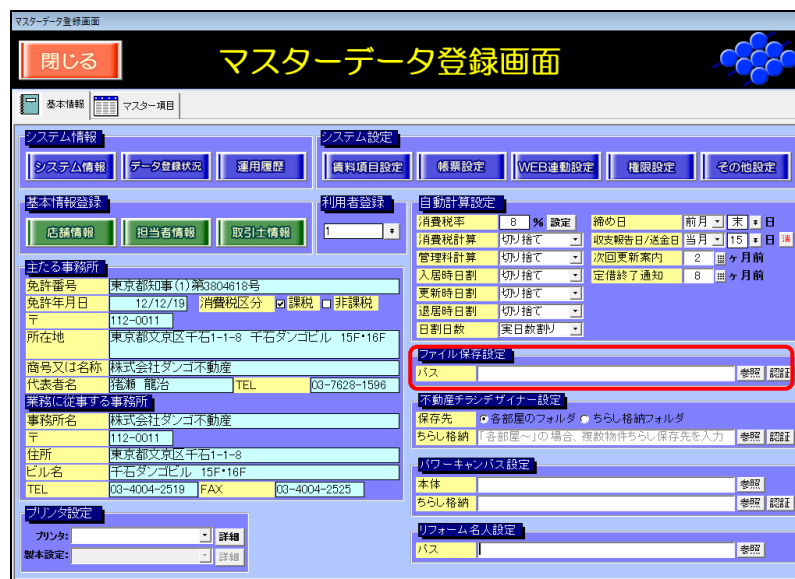


正しい画像登録フォルダの設定方法(画像登録時のエラー対策)

画像の登録を試みると、次のように「マスター登録画面でファイル保存パスの設定を行ってください。」と表示され、登録ができないことがあります。



これは、画像の保存先である「ファイル保存パス」が未設定か、または登録内容に不備があるため、ソフトが画像ファイルを保存できないことが原因です。この現象は「ファイル保存パス」を正しく設定することで解消します。「ファイル保存パス」はマスターデータ登録画面から設定します。

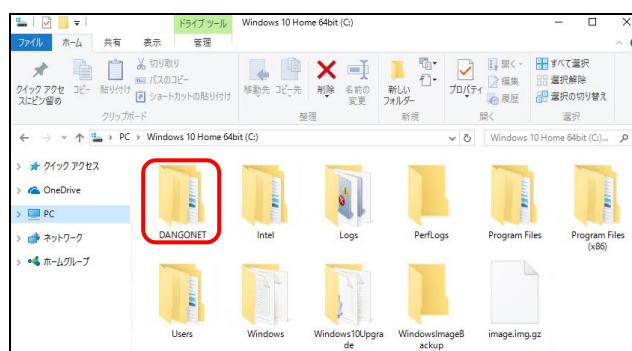


スタンドアロン型のファイル保存設定方法

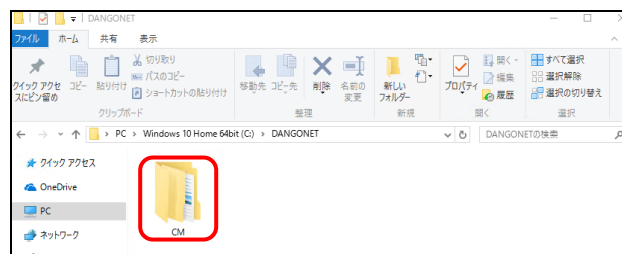
パソコン上に以下の階層のフォルダを作成し、これを「ファイル保存設定パス」に設定します。

[ローカルディスク (C)] – [DANGONET] – [CM] – [資料]

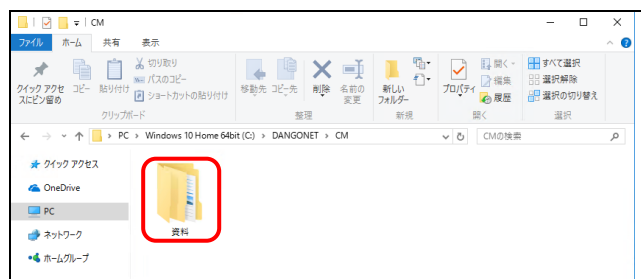
まず、C ドライブの直下に新しいフォルダを作成し、フォルダ名を [DANGONET] と設定します。



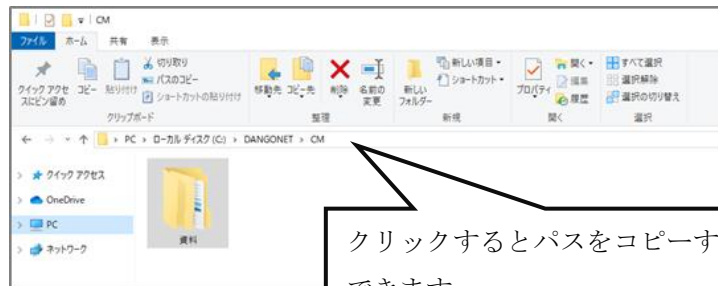
次に、作成した [DANGONET] フォルダを開き、新しいフォルダを作成します。フォルダ名は [CM] と設定します。



次に、作成した [CM] フォルダを開き、新しいフォルダを作成します。フォルダ名は [資料] と設定します。



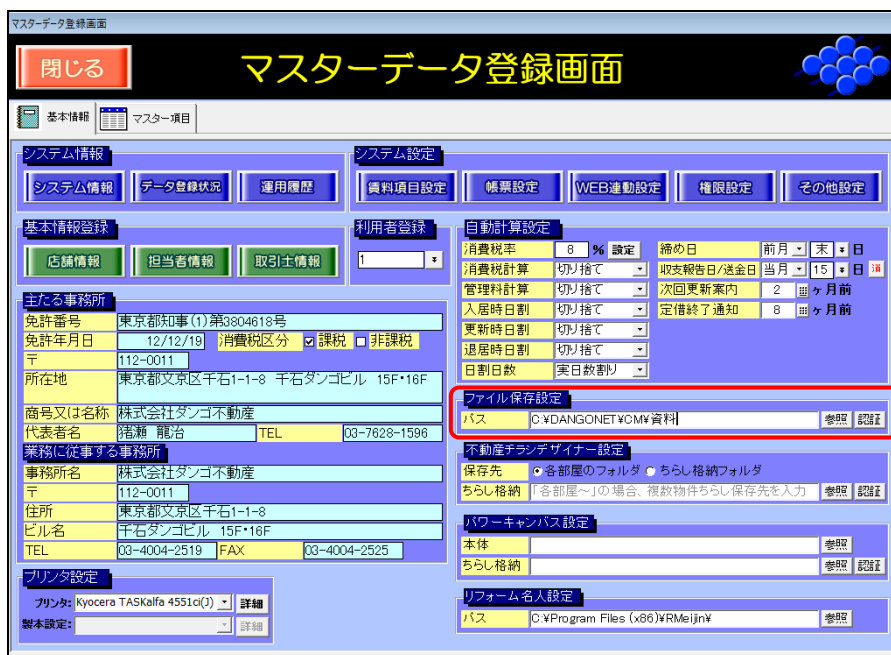
次に、賃貸名人のマスターデータ登録画面にて、ファイル保存パスに作成した
 [ローカルディスク (C)] - [DANGONET] - [CM] - [資料] という階層のフォルダ
 を設定します。パス欄に直接フルパスを入力するか、または [参照] ボタンから選択・設
 定してください。



クリックするとパスをコピーすることができます。

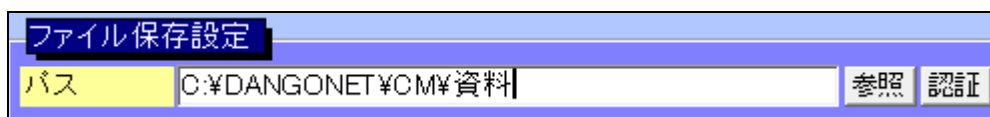
C:\DANGONET\CM\資料

白い何もないところをクリック



以上で設定は完了です。画像の登録が正常にできるかご確認ください。

<拡大表示>



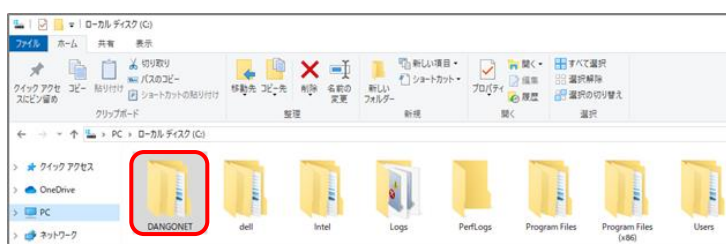
この欄に直接フルパスを
 打ち込むこともできます。

参照ボタンからフォルダを選択する
 とパスが自動的に登録され
 ます。

ネットワーク型/WAN 型のファイル保存設定方法

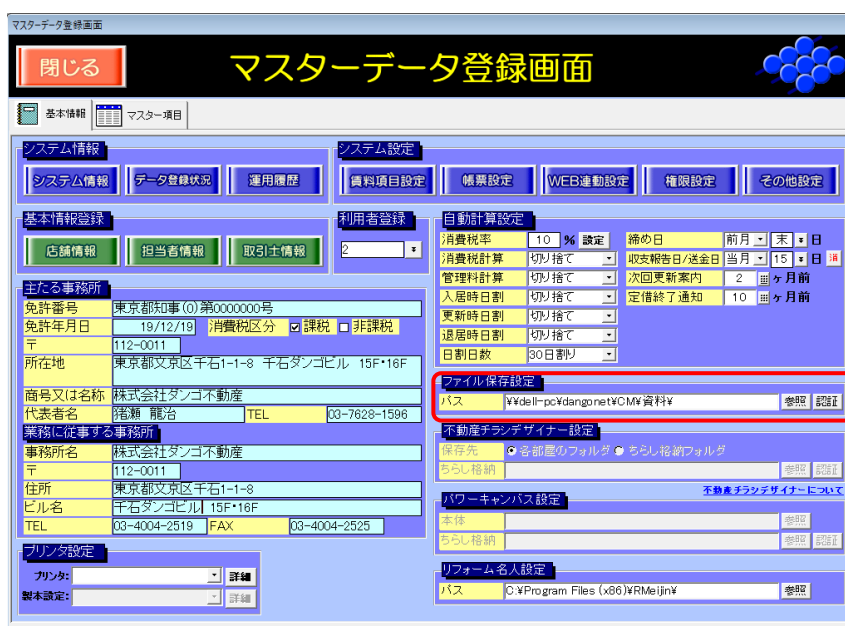
ネットワーク型/WAN 型で賃貸名人をご利用の場合は、クライアント（子機）からネットワーク経由でフォルダを設定する必要があります。

まず、サーバ（親機）で作成した [DANGONET] フォルダを先に共有設定し、クライアント（子機）からフォルダ参照できるような環境の構築が必要です。

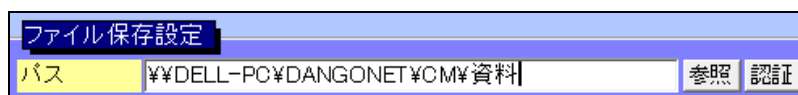


「ファイル保存設定パス」は、

「¥¥[サーバのコンピュータ名]¥DANGONET¥CM¥資料」と設定します。



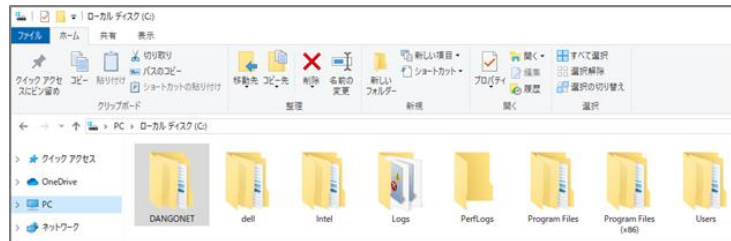
<拡大表示>



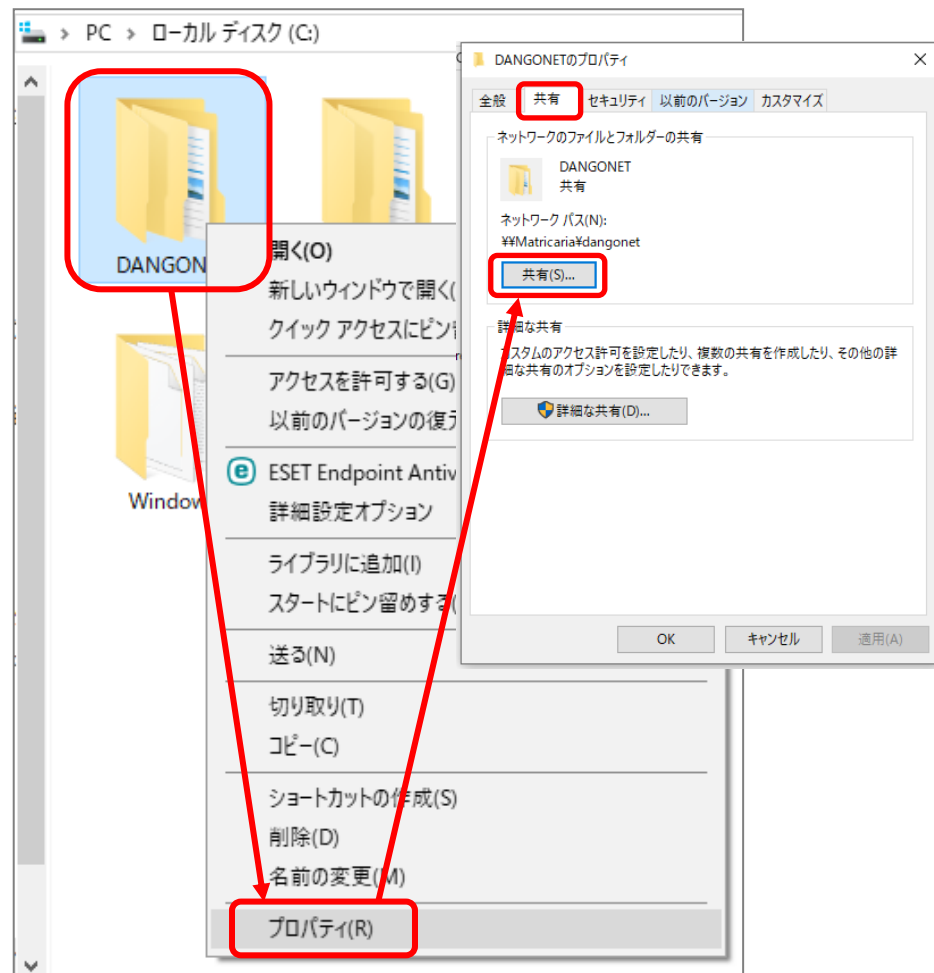
これで、サーバ機（ここでは DELL-PC）の [DANGONET] フォルダ内にクライアントから登録した画像もストックされるため、全てのパソコンで賃貸名人の画像情報を共有することができます。

共有設定について

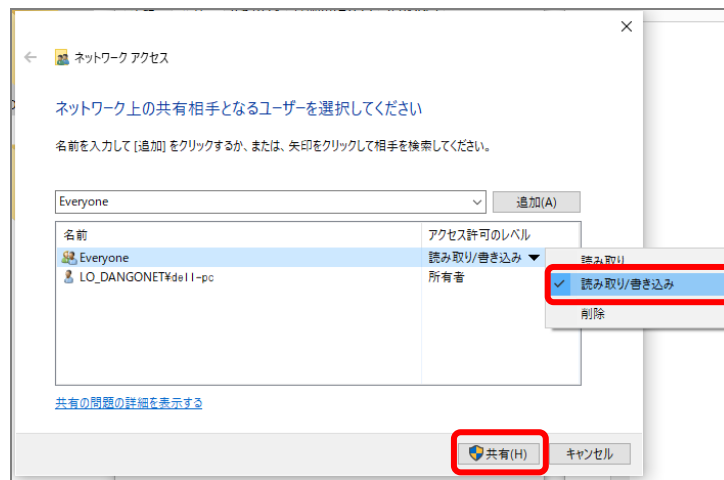
サーバ（親機）で作成した [DANGONET] フォルダに共有設定をしてください。



[DANGONET] フォルダを右クリックし [プロパティ] を選択してください。
DANGONET のプロパティ画面の共有タブにある [共有] を選択してください。



「Everyone」を「追加」し「読み取り/書き込み」に変更してから「共有」を選択します。



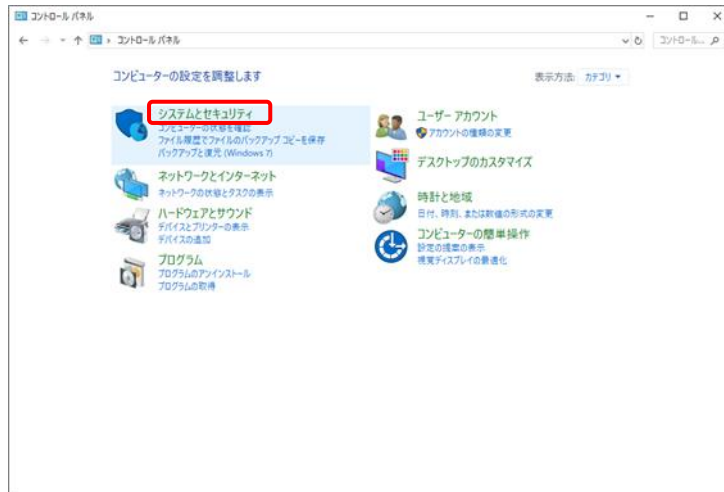
次のダイアログが表示されればフォルダの共有は完了です。「終了」を選択してください。



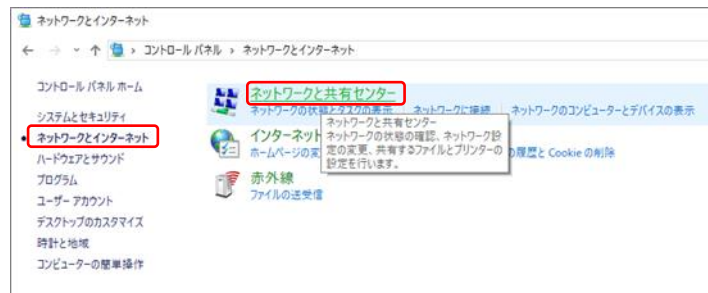
パスワード保護共有の設定

Windows Vista 以降の OS を搭載したパソコンでは標準でパスワードによる共有フォルダの保護が有効にされています。これを無効にすることで端末からのアクセスをすべて許容することができます。

[コントロールパネル] を開き、[システムとセキュリティ] を選択してください。



[ネットワークとインターネット] から [ネットワークと共有センター] を選択します。



[共有の詳細設定の変更] を選択します。



[すべてのネットワーク] を選択します。



「パスワード保護の共有を無効にする」を選択し「変更の保存」を選択します。

